

時間割コード	G3D22201	開講年度	2026				
授業題目	中国語中級Ⅱ					担当教員	LI DANDAN
英文授業名	Chinese: Intermediate LevelⅡ						
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・5時限	対象学生	LⅡ／全Ⅱ
講義室	共通教育 2 5 講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	大学D P 学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力					⇔	・中国語の様々な表現を理解し、中級レベルの複雑な文章を読解できるようになる。 ・中国語を使って様々な行動を表現できるようになり、それを日常の会話に活かすことができるようになる。 ・日中の生活における習慣の違いについて、その特徴を理解できるようになる。
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	前期の続きです。 ・教科書を用いてテーマに沿った文章・会話文を取り上げ、初級段階から更に踏み込んだ形で発音・語彙・文法を学んでいきます。 ・特に「聞く・話す」に力を入れます。 ・授業毎のテーマについて日中の違いを考えます。おおよそ2～3回分の授業で 1 課を進めます。						
(5)授業のキーワード	中国語 中級 中国文化						
(6)授業計画	第 1 回 第7課「ちょっと体調が悪いです。」（前半） 第 2 回 第7課（後半）、練習 第 3 回 第8課「私は中国文化が大好きです。」（前半） 第 4 回 第8課（後半）、練習 第 5 回 小テスト（一回目）、第9課「これからは夜更かししません。」 第 6 回 第9課（後半）、練習 第 7 回 第10課「帰ってきたら、一緒に粽（ちまき）を食べよう」（前半） 第 8 回 第10課（後半）、練習 第 9 回 第11課「私たちはちょうどいいタイミングで着きました。」（前半） 第 10 回 小テスト（二回目）、第 11 課（後半）、練習 第 11 回 第12課「あなたの趣味がこんなに多いとは思わなかった」（前半） 第 12 回 第12課（後半）、練習 第 13 回 特別編① 第 14 回 特別編② 第 15 回 復習・質疑 授業アンケート 第 16 回 期末テスト						
(7)成績評価の方法	・小テスト（20 点×2 回） 一回目（5 回目） 日本語の文を中国語に翻訳する。（6 割解答できて合格基準） 二回目（10 回目） 中国語の文を発音を聞いて書き取り、その意味を日本語に翻訳する（書き取り 6 割と翻訳 6 割解答できて合格水準） ・期末テスト（50 点）（6 割解答できて合格水準） ・主体性（10 点） 授業の場での積極的な取り組み方、疑問点を自らまとめて質問し解決を目指す態度、内容の理解度などから評価します。欠席や授業中の居眠りなど、不適切な行動は減点対象になります。						
(8)成績評価の基準	小テスト（40 点満点）＋期末テスト（50 点満点）＋主体性（10 点）のトータル得点が成績になります。 [合格水準] トータル得点 60 点台 [やや上にある] トータル得点 70 点台 [かなり上にある] トータル得点 80 点台 [卓越している] トータル得点 90 点以上						
(9)事前事後学習の内容	・予習より時間をかけて復習してください。 ・課した課題をこなす。 ・教科書に付した音声資料を活用し、本文・例文をすらすら話せるようになるまで繰り返し音読する。 ・課ごとに最後のコラム「ティータイム」を授業の発展として各自で読み、より難易度の高い中国語を覚えながら、中国文化・中国人の考え方などについての理解を深める。また、そのテーマについては日本・日本人はどうなのかについて考える。						

(9)事前事後学習の内容	＊この授業は 90 時間の学修を必要とする内容です。したがって、60 時間以上の時間外学習が必要となります。
(10)履修上の注意	・受講生の理解度を見ながら授業のペースを調整するため、授業の実際の進行度合いはシラバスに記したものより前後する可能性があります。 ・状況によって、eALPS を併用して授業を行います。開講前日までに eALPS を確認してください。 ・人文学部の学生は学籍番号下一桁が偶数の人。(奇数の人は同時開講の百瀬教員担当クラスを履修してください)」クラス変更を基本する場合は教員に相談してください。
(11)質問,相談への対応	授業前後に対応します。または lidandan@shinshu-u.ac.jp まで連絡してください。
(12)授業への出席	・全ての回に出席することを基本とします。 ・授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外(不可)となります。 ・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。 ・「学修の補充の対象とする事由」(『共通教育履修案内』参照)により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください(『共通教育履修案内』参照)。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」(『共通教育履修案内』参照)により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法(『共通教育履修案内』参照)により、共通教育窓口で申請してください。(この場合は、出席扱いにはなりません。)
【教科書】	『遊学 中級中国語』,陳軍(他)著,白帝社,2022年,2,400円(税抜き),ISBN978-4-86398-465-3
【参考書】	特にありません。